Ⅵ　ちばアクアラインマラソンの概要

「ちばアクアラインマラソン」開催の基本概念（コンセプト）は、「『スポーツの振興』と『千葉県の魅力発信』を二本柱とした大会を開催し、多くの人たちに千葉県と東京湾アクアラインの魅力を知ってもらうことで、地域間交流の拡大による地域活性化を図る。特に、東京オリンピック・パラリンピックを契機に高まるスポーツへの関心と醸成されるおもてなしの心をつなぐための大会とする。（2020 大会）」としている。2012 年の第１回大会以降、2018 年までに２年に一度、４回開催された。2020 年には、「災害からの復旧・復興」もテーマに据えて、５回目の大会開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、中止となった。

これまでの実績及び効果

1　「スポーツの振興」では、「するスポーツ」として海の上を走る爽快感を、「みるスポーツ」としてマラソンの醍醐味を、それぞれ堪能していただいたとともに、「ささえるスポーツ」として、スタッフや応援者が温かいおもてなしの心で対応いただいたことにより、「スポーツ立県ちば」の一層の推進が図られた。

2　「千葉県の魅力発信」では、本県の魅力あふれるイベント会場を展開し、ランナーに名産・特産品を給食として味わっていただくとともに、テレビやラジオ、インターネットなどを活用して「海の上を走る希少な大会」と「東京湾アクアライン」の魅力をＰＲすることにより、千葉県の魅力を国内外に広く発信することができた。

3　「おもてなしの心の醸成」では、スタッフや応援者から千葉県らしい「温かいおもてなし」を、ランナーをはじめとする多くの皆様に届けることができた。

4　「地域活性化」では、本大会が希少価値を活かした大会であり参加者と地域が盛り上がる大会の魅力を理解いただき、スポンサーや企業ボランティアとして経済界の協力も得られ、大会に関わる多くの人々や企業・団体等の皆様が「自己肯定感」を味わい、“誰もがハッピー”と感じる大会のかたちができた。

◆過去大会の実績等

	2012	2014	2016	2018	2020
開催日	H24. 10. 21	H26. 10. 19	H28. 10. 23	H30. 10. 21	R2. 10. 18（中止）
種目定員（人）	マラソン 15,000	マラソン 13,000 ﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ 4,000	マラソン 12,000 ﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ 5,000 車いすﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ 10	マラソン 12,000 ﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ 5,000 車いすﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ 10	マラソン 12,000 ﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ 5,000 車いすﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ 10
倍率	1.8	2.6	1.9	2.0	－
完走率（%）	73.8	マラソン 85.3 ﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ 91.6	マラソン 89.6 ﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ 95.1 車いすﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ 55.6	マラソン 86.3 ﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ 94.8 車いすﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ 50.0	－
開催費用（県費）	4.91 億円(1 億円)	5.57 億円(1.06 億円)	5.76 億円(0.95 億円)	6.48 億円(1.62 億円)	7.1 億円(1.92 億円)
参加料（円）	10,000	マラソン 11,000 ﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ 8,000	マラソン 12,500 ﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ 9,500 車いすﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ 同額	マラソン 12,500 ﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ 9,500 車いすﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ 同額	マラソン 13,500 ﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ 10,500 車いすﾊｰﾌﾏﾗｿﾝ 同額
スタッフ数（ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ）	7,266 人(3,296 人)	9,265 人(5,035 人)	8,991 人(5,152 人)	8,322 人(4,849 人)	8,837 人(4,876 人)
沿道応援者	31 万人	35 万人	36 万人	36 万人	－
経済波及効果	15.10 億円	33.86 億円	38.82 億円	34.54 億円	－